

文科省第1次補正予算(案)、総額 3,034億円!

学校施設等の復旧に2,450億円、就学支援に189億円など。

旺文社 教育情報センター 23年4月25日

政府は23年4月22日、東日本大震災の復旧対策に向けた23年度第1次補正予算案の概要を閣議決定した。仮設住宅の建設や瓦礫処理の費用などに4兆153億円を計上。このうち文科省予算は、学校施設等の復旧2,450億円、各学校段階における就学支援に189億円など、総額で3,034億円となっている。4月28日に国会に提出、5月2日の成立を目指す。

以下に、文科省の第1次補正予算案の概要を紹介する。

なお、文科省の23年度当初予算は、前年度より498億円(0.9%)減の5兆5,428億円。

学校施設等の復旧

2,450億円

- ・ 公立学校 962億円
- ・ 私立学校(専修学校等含む) 1,081億円
- (施設復旧 643億円)
- (私学事業団の無利子融資(5年) 226億円)
- (教育研究活動復旧費補助 212億円)
- ・ 国立大学等 265億円
- ・ 公立社会教育・体育・文化施設 87億円
- ・ 研究開発法人施設等 55億円

各学校段階にける就学支援

189億円

【初等中等教育】

- 被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金(仮称)の創設 113億円
都道府県に基金を設置し、震災により就園・就学等が困難となった幼児・児童・生徒に対し支援を行う。

- (・ 奨学金事業 ・ 私立高校等授業料減免事業 ・ 学用品等給付事業)
- (・ 特別支援教育就学奨励事業 ・ 幼稚園就園奨励事業)

【高等教育】

- 奨学金の緊急採用の拡充 35億円
家計急変に伴う奨学金の緊急採用(約4,700人)
- 授業料減免措置の拡充 41億円
被災した学生の就学機会の確保のための授業料等減免の拡充
(国立大学等 約1,400人(8億円)、私立大学等 約4,600人(34億円))

メンタルヘルスケア対応		30 億円
○ スクールカウンセラーの緊急派遣(国公私 約 1,300 人)		
福島原発事故対応		24.6 億円
○ 放射線対策(モニタリング、被曝医療等)	24 億円	
○ 原子力損害賠償事務など	0.6 億円	
防災対策事業		340 億円
○ 公立学校施設の耐震化(約 1,200 棟)	340 億円	
<hr/>		
総 額		3,034億円